

ぽかぽか

梅雨が明け、夏本場となりました。socioでも暑さ対策をしっかりとしながら、夏ならではの経験をたくさんしていきたいと思っています。

この時期は夏風邪をひきやすいので、睡眠や休息を十分にとって元気に過ごせるようにしたいですね。発熱などで欠席をされる方もおられますが、プール熱など出席停止にあたるものは、医師の許可が出るまではお休みいただくようになります。治癒証明が出れば、socioにも通所可能になりますが、治癒証明は在籍園に提出されると思いますので、socioには治癒証明が出たことを伝えてくださるだけで構いません。なお、未就園児については、症状によっては治癒証明をお願いする場合があります。また、手足口病など出席可能かどうか医師の判断によるものは、通院時にご相談してみてください。

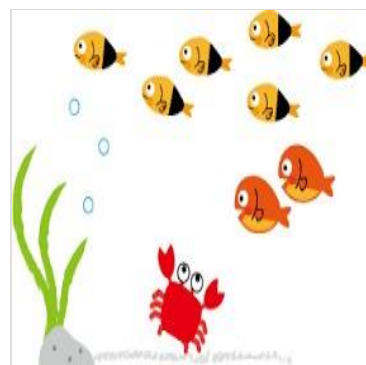
夏季休業中の施設利用について

津山市の小学校は7月20日(金)から夏季休業に入ります。長期休業中は小学生が朝から登所します。いつもと違う環境に戸惑われたり、室内環境も手狭になりご不便をおかけしたりすると思いますが、ご理解くださいますようお願いいたします。また、集団療育後の保護者懇談も別室をご用意することが難しいため、お子様と同室での懇談になりますが、何卒ご了承ください。

閉所日のお知らせ

8月11日(土)～8月15日(水)

お盆の間はお休みになります。



8月の土曜療育相談について

8月4日(土)の午前中の予定です。(①9:00～②10:00～③11:00～)

ご予約は担当スタッフ(廣戸・西村)までお願いします。土曜療育相談について小学生以上の方からの問い合わせもありますが、土曜療育相談の対象は①療育をご利用の方②療育をご検討の方となっていますので、ご了承ください。

よくあるお悩み～キーワードとなる言葉より～

「こんなのできて当たり前」

発達過程の中で子ども達は、だんだん歩けるようになり、スプーンで食べられるようになり、言葉を覚え、トイレに行けるようになります。大人になっても自然にできることは、誰にも自然にできると思いがちですが、これらのことは、決して当たり前のことではなく、何でも一つ一つ学んで身につけていくのだということを忘れてはいけません。発達がゆっくりな子ども達には、少しゆっくりとていねいな関わりをしていきましょう。

「これができるんだからあれもできるはず」

得意なことと苦手なことの凸凹が大きい子どもたちがいます。発達障がいのお子様の中には知能が高く、学習や理解の面で困らないお子様もいて、「やればできる」と思われがちですが「これができたからあれもできる」とはいきません。やる気がないと決めつけるのではなく、その前に一度「自分にだって苦手なことがある」「誰にだって苦手はある」と立ち止まって考えてみることも大切です。

「自由にしていればいいよ」

言うことを聞かない子どもや集団に参加しない子どもに対して「小さい子どもは自由奔放なもの」という見方だけで関わってしまうと、子どもの中に無意識に「勝手にしてもいいんだ」「いやなことは拒否すればいいんだ」という認識が生まれます。幼児にこういった刷り込みができてしまうと、小学校に入学してからの生活に支障をきたしてしまうことになると言われてます。大切なことは身につけられるように意識しながら、のびのび育てられるようサポートできるといいなと思います。

「様子を見ていればそのうちできる」

言われなくてもその場の空気を読み取り、自然に学んでいくことができる子どもに対して、自然にはわかりにくい認知の特性をもっている子どももいます。そういう子ども達には、わかるように教えたり、繰り返しの経験の中で伝えたりしていかなければいけません。気になることがあれば、保護者様一人で悩まず気軽にご相談ください。お子様への関わり方を保護者様と一緒に考えていけると嬉しいです。

